

人的資本経営の推進について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、「人的資本経営の基本方針」に基づき、積極的な人的資本投資による事業基盤の強化と持続的な企業価値向上を図る観点から、人的資本経営の推進に向けた体制を整備するとともに、七十七グループにおける「人材戦略」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

七十七グループは、価値創造の源泉である人材の育成と多様な人材が活躍できる職場環境の整備を通じて、役職員のエンゲージメント向上と地域社会の持続的な発展を実現してまいります。

記

1. 人的資本経営の推進に向けた体制
別紙1のとおり

2. 「人材戦略」の策定について
別紙2のとおり

3. その他

人的資本経営に関する取組み等につきましては、今後もあらゆる機会を通じ、適切な情報開示に努めてまいります。

以上

（関連するSDGs）



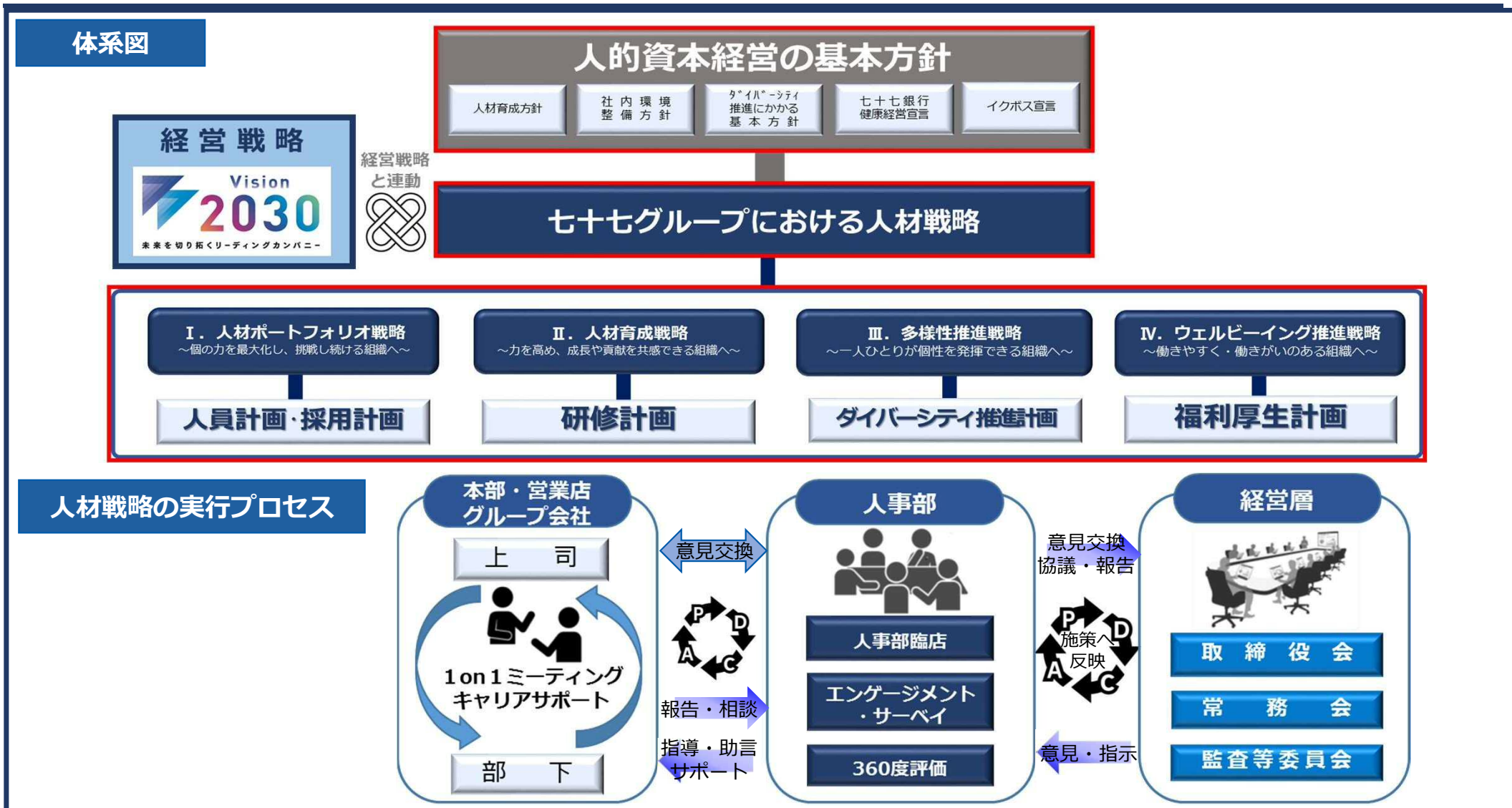
SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。



別紙1 人的資本経営の推進に向けた体制（体系図・実行プロセス）



「人材戦略」の策定について

「人的資本経営の基本方針」に基づき、積極的な人的資本投資による事業基盤の強化と持続的な企業価値向上を図る観点から、七十七グループにおける「人材戦略」を策定いたしました。

1. 基本的な考え方

七十七グループでは、人材を価値創造の源泉である「人的資本」と位置付け、コンサルティング等の専門性と豊かな人間力を兼ね備えた「顧客・地域に役立つ人材」および挑戦的な企業文化の確立に向けたチャレンジ精神溢れる「企業変革に資する人材」の育成、ならびに職員のエンゲージメント向上に向けた「生き生きと働ける職場環境」の整備に取り組むことにより、地域の未来を切り拓き、当行グループの持続的な成長につなげてまいります。

2. 七十七グループが目指す人材像

「Vision 2030」で掲げる「なりたい姿」の実現や経営諸目標の達成のため、「顧客・地域に役立つ人材」「企業変革に資する人材」を目指す人材像と定義し、専門性・多様性を高めながら「未来を切り拓くリーディングカンパニー」を実現してまいります。

【七十七グループが目指す人材像】

- ・顧客・地域に役立つ人材
(高い専門性と豊かな人間力を兼ね備える)
- ・企業変革に資する人材
(創造力とチャレンジ精神に溢れ、未来志向で物事を捉える)

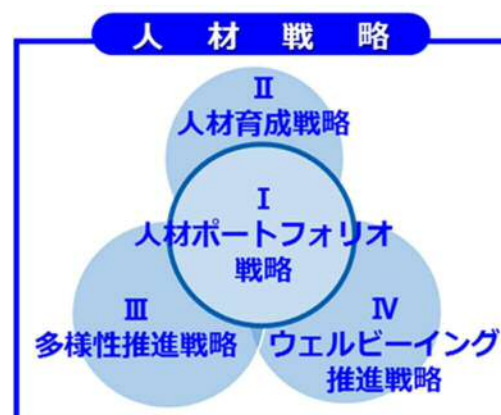
3. 七十七グループの「人材戦略」

A. 概要

「人材戦略」は、4つの戦略領域で構成し、戦略毎に前提となる「なりたい姿」を明確化のうえ、各々「コンセプト」、「ストラテジー」を策定するとともに、「戦略KPI」を設定し、進捗状況を管理してまいります。

B. 4つの戦略領域

- a. 人材ポートフォリオ戦略
～個の力を最大化し、挑戦し続ける組織へ～
- b. 人材育成戦略
～力を高め、成長や貢献を共感できる組織へ～
- c. 多様性推進戦略
～一人ひとりが個性を発揮できる組織へ～
- d. ウェルビーイング推進戦略
～働きやすく・働きがいのある組織へ～



4. その他

「人材戦略」は、経営計画の見直し等に合わせて、適宜見直しを行ってまいります。

以上

